

陸上競技に関する注意事項(リハーサル大会)

1 ウォームアップについて

- (1) 競技に出場する前に、各自(各選手団)の責任でウォームアップを行ってください。
- (2) ウォームアップは、ウォームアップ場(補助競技場)で行ってください。
- (3) 危険防止のため、トラック内での逆走、フィールド内での体操などは絶対に行わないでください。
- (4) 砲丸投の練習は、補助競技場内砲丸投専用ピット。ビーンバッグ投の練習は、補助競技場フィールド内で行ってください。
- (5) ソフトボール投、ジャベリックスローの練習は球技場で行ってください。

<練習場所一覧>

第1・第2レーン	車いす
第3・第6レーン	カラーコーン
第4・第5レーン(バックストレート側)	スタート
第4・第5レーン	その他競走競技・リレー
第7・第8レーン(ホームストレート側)	視覚障害者スタート
フィールド内(第1・第2コーナー側)	走高跳
補助競技場内専用コース	スラローム
トラック外・フィールド内芝生	ランニング
補助競技場砲丸投専用ピット	砲丸投
フィールド内	ビーンバッグ投
球技場	ソフトボール投・ジャベリックスロー

※時間帯によって車いすコースを広げる場合があるので、係員の指示に従ってください。

2 招集について

- (1) 招集は、競技開始時刻の40分前に開始し、30分前に完了します。競技者招集所の場所は、第3ゲート付近に設けます。(会場図参照のこと)
- (2) 招集開始時間に、必ず競技者招集所でチェックを受け、競争競技に出場する競技者は腰ナンバーカード(1枚)を受け取り、腰部右のやや後方に貼り付けてください。車いすで出場する選手は(100m走以上に出場する競技者)ヘルメットの左右または両肩部等の見やすいところに貼り付けてください。
- (3) 競技者招集所では、競技役員から、競技No、種目、レーン、試技順、選手番号、選手名、選手団体名等を確認します。
- (4) チェックを受けなかったり、時間に遅れたりすると棄権とみなされ、競技に出場することができません。
- (5) 招集後、誘導を担当する競技補助員により誘導され、競技となります。競技補助員は、トラック競技では競技地点に誘導後、フィニッシュラインに側に移動し競技者を迎え競技者解散所まで同行します。また、フィールド競技では競技終了まで競技地点で待機し、競技終了後、競技者解散所まで競技者に同行します。

3 車いす検査について

- (1) 検査時間は、競技開始前の 60 分前から 30 分前までとします。車いす検査所は、補助競技場付近(会場図参照のこと)に設けます。
- (2) 車いすを使用して競技に出場する競技者は、競技に出場する度に車いすの検査を受けなければなりません。検査に合格しないと競技に出場できません。検査に合格した場合は、車いすに所定のシールを貼ります。
- (3) 不合格になった場合でも、修理等を行い、招集完了時刻までに検査に合格すれば、競技に出場できます。
- (4) 50m走に車いすで出場するすべての競技者は、日常生活用の車いすを使用することとします。800m以上に出場する選手は競技用車いすを使用すること。電動車いすを使用する場合は JIS T9203(電動車椅子工業規格)に定めたものとします。

4 競技用靴

- (1) 競技用靴については、スパイクシューズの使用を認めます。
- (2) 競技場は全天候型対応舗装になっています。
- (3) スパイクシューズのピンの数は 11 本以内で、長さは、9mm 以下(走高跳、ソフトボール投及びジャベリックスローでは 12mm 以下)とします。また、スパイクの先端近くで、少なくとも長さの半分は 4mm 四方の寸法に適合するように作られていなければなりません。

5 衣服等の商標について

- (1) 衣服等の広告に関する規定については日本陸上競技連盟「競技会における広告及び展示物に関する規定」に従い違反に対しては、主催者においてテープ・シール等で隠す等の処置をします。介助者・伴走者についても競技者と同様の扱いとします。

6 不正スタート・競技制限時間について

- (1)トラック種目での不正スタートをした競技者は全て失格となりますのでご注意ください。スタート前のコールはイングリッシュコールを使用します。オンユアマークス(位置について)セット(用意)の掛け声で行います。
- (2) 陸上競技のトラック競技については、スタート合図後、下記の種目ごとに定める時間を経過した時点で、競技を中止するものとし、当該時間内にフィニッシュできなかった選手はゴール後でも失格となりますのでご注意ください。

<陸上競技競走競技 競技時間一覧>

種目	時間(分)
50m	6
100m	6
200m	8
400m	8
800m	14
1500m	18
スラローム	8
4×100mリレー	8

7 投てき種目の競技方法について

競技運営の関係上、すべての投てき競技は3回連続で投げるものとします。なお、1回の試技時間は投てき用具を渡した後、1分間とします。

8 介助者、伴走者について

競技場内に入場する際は、必ず介助許可証(介助ビブス)、伴走許可証(伴走ビブス)を着用してください。

(1) 介助許可証(介助ビブス)

- ① 介助許可証は、出場する種目ごとに介助許可証交付所で交付を受け、競技終了後、必ず選手解散所で返却してください。(出場するごとに配布、回収を行います。)
- ② 介助許可証交付所で、招集時(競技開始時刻60分前から30分前)に介助許可証を交付します。
- ③ 当日介助者の同伴が急遽必要となった場合は、介助許可証交付所で交付申請を行い、実施本部の許可を受けただうえで、介助許可証を受け取ってください。
- ④ 介助許可証交付所は、補助競技場付近(会場図参照のこと)に設置しています。

(2) 伴走許可証(伴走ビブス)について

伴走許可証は、事前に申し込みのあった選手のみ、伴走許可証交付所(会場図参照のこと)で招集完了時刻(競技開始時刻の60分前から30分前)まで交付します。伴走許可証は、競技終了後、必ず競技者解散所で返却してください。(出場する種目ごとに配布、回収を行います。)

(3) 介助者、伴走者の同伴について

介助者、伴走者は、競技者の介助、伴走を目的として同伴が認められていません。競技者に対して競技上有利となるような声掛け等はできません。声掛け等は、「助力」と見なされ、競技役員から注意・警告を受け聞き入れない場合は競技者が失格となりますので注意してください(介助者が競技の伴走をした場合も助力と見なされます)。

(4) カメラの持ち込みについて

介助者・伴走者の競技場内へのカメラ・ビデオ・携帯電話等の機器の持込はできません。また、競技に関係のない物についても持ち込むことはできません。

9 リレーオーダー用紙について

- (1) リレー種目に出場するチームは、招集開始予定時刻の60分前までに、オーダー用紙2枚(同じもの)に記入し、TICテント内の係員に提出してください。リレーチームの編成メンバーは、その競技会のリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者で障害区分が該当する競技者(2名以内)であれば出場することができます。リレーオーダー用紙は、TICテントでも配布します。

※公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則第170条10

出場するメンバーのうち少なくとも2人はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。2人以内に限り、他の競技者と交代することができる。

- (2) 肢体障害者等のリレーオーダー(競技者)は、必ず女子が1名以上含むこととします。ただし、知的障害者のリレーは男女別とします。
- (3) リレーに出場するチームの競技者は、原則、同一のユニフォームを着用する

こととしておりますが、同一ユニフォームを揃えることが難しい場合はこの限りではありません。

- (4) 身体障害のリレーのバトンパスについては、バトンを使用せず手と手の接触によって行います。知的障害のリレーについては、バトンを使用して行います。

10 棄権届について

申込後、棄権(欠席)する場合は、必ず、受付時に市町もしくは所属団体を通じて棄権届1部を提出してください。その後、棄権となった場合は、速やかに、棄権届1部をTICテント内の係員に提出してください。棄権届の用紙は、TICテントでも配布します。

11 抗議について

抗議については、記録発表(陸上競技会場内に設置した記録速報板への掲示をもって発表とします。)の後、30分以内に競技者自身又は代理人あるいはチームを公式に代表する者が、公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則に準じ、陸協競技本部(総務担当総務員)まで申し出てください。

12 競技規則について

本大会は、本注意事項並びに、「(財)日本陸上競技連盟競技規則」、「全国障害者スポーツ大会競技規則」、「第17回全国障害者スポーツ大会リハーサル大会兼第12回愛媛県障がい者スポーツ大会陸上競技実施要領」により実施します。